

公民連携・課題解決推進事業「KYOTO CITY OPEN LABO」について



急速な技術の進展や社会状況の著しい変化など、行政の知識・経験の範囲内で考える解決策が最適であるとは限らない今、企業の技術やノウハウ、ビジネス活動を市政の推進に取り入れ、市民のためにどう役立てるかという視点が重要になりつつあります。

各局区等におかれては「KYOTO CITY OPEN LABO」を積極的に活用されるよう周知いただき、各所管課が抱えている課題について企業から提案を求め、企業の優れたノウハウや最新技術の実装化に幅広くトライアルしていただきますようお願いいたします。

1 「KYOTO CITY OPEN LABO」の活用のメリット

- ① 新たな発想、これまでとは異なった視点で解決策のアイデアが得られる
- ② 最新技術を取り入れることができる
- ③ 予算化していなくても柔軟に実施できる（費用負担なく試行実施が可能）
→本市は実践フィールド・ネットワーク・データ等を企業に提供
- ④ 試行実施により、予算化・事業化の前に有効性を検証できる
- ⑤ 行政課題を企業主体のビジネス活動で解決する可能性を検証できる など
→ 企業のノウハウ・最新技術の実装に向けたトライアルの場として、積極的にご活用ください。

2 充実したサポート体制

(1) 民間の公民連携プラットフォームによるサポート

自治体の支援等で豊富な実績を有する民間の公民連携プラットフォームを通じて、

- ・ 課題に応じた企業の紹介やマッチング
- ・ 企業へ効果的に訴求するための課題の見せ方など、行政職員では見えにくい視点を民間目線からアドバイス

など、個別に企業との連携をサポートします。



- (2) 成長戦略推進アドバイザー（ファンドレイジング推進担当）によるサポート
民間資金を獲得し、公民連携を持続的かつより効果的に取り組めるよう、資金調達の専門家が所管課に対するアドバイスと必要なアプローチを一緒に行います。
- (3) 相談会・セミナー
- ・ 公民連携手法の導入や資金調達に関する個別相談会の開催
 - ・ 企業を招いて先進事例・技術を紹介するセミナーの開催
 - ・ 企業と意見交換できる対話の場を創出 など

3 「KYOTO CITY OPEN LABO」の概要

資料 3－2	「KYOTO CITY OPEN LABO」の活用の流れ
資料 3－3	「KYOTO CITY OPEN LABO」の実施状況

公民連携手法の活用については、総合企画局総合政策室（市民協働推進担当：22-3178）までお気軽に御相談ください。